

# 地域経済の可能性を探る —ものづくりの明日は—



「超円高」時代にあって、地域経済の現場では再生への動きが加速しています。人間重視の視点で技能を磨くとともに、産地など地域固有の資源をフルに生かす組織が注目されているのです。また、グローバルに動く巨大工場の撤退が相次ぐ中であって、改めて「地域に根差す」という意味が問われています。

2012年を迎え、地域経済の可能性をどこに見いだせばいいのか。東日本大震災からの地域再生も視野に第一線のメンバーとともに考えていきます。

**2012年2月18日(土)13:30～16:30** ※事前予約不要、参加費無料

西宮市大学交流センター(西宮市北口町1番2号 ACTA 西宮東館6階)

## 基調講演 (13:30-14:20)

小関 智弘 氏

(元施盤工・作家 著書に「春は鉄までが匂った」「現場で生まれた100のことば」「職人学」など)

## パネルディスカッション (14:30-16:30)

コーディネーター：大久保 裕晴 (池田泉州銀行顧問兼自然総研社長 元神戸大大学院教授、元日銀神戸支店長)

パネリスト：

大裏 篤 (兵庫県立ものづくり大学校校長 兵庫県参事)

吉田 修 (尼崎商工会議所会頭 音羽電機工業社長)

宮永 英孝 (播州算盤工芸品協同組合理事長)

玉木 新雌 (播州織デザイナー)

加藤 正文 (神戸新聞経済部次長)

綱本 武雄 (地域環境計画研究所代表取締役 関西学院大学地域・まち・環境総合政策研究センター客員研究員)

## 懇親会 (17:00頃～)

参加費 3,000円程度

お問い合わせ

株式会社 地域環境計画研究所

TEL : 06-6438-1852 / Fax : 06-6438-3031 / E-mail : chiiki.k.k@nifty.ne.jp